

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	奥森吉青少年野外活動基地	所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原1番地
指定管理者	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン	県所管課	生活環境部 自然保護課

1 施設の概要															
設置目的	奥森吉の恵まれた自然の中で野外活動を行う機会を提供することにより、青少年の自然環境に関する意識の高揚を図り、もって自然環境の保全に関する学習の振興に寄与する。														
県の施策上の施設の位置付け	秋田県総合計画 政策8 環境・くらし 方向性2 自然環境の保全と自然公園等の利活用の促進 目標：自然環境学習拠点施設等の利用者数 36千人 取組：自然公園施設等の適正な維持管理														
設置年	1997年	経過年数	29年	目標使用年数	40年	残年数	11年	施設面積	エリア面積487.7ha						
施設の設置状況	野外活動センター、キャンプ場サニタリー等														
県内類似施設	秋田県環境と文化のむら（五城目町）、森吉山野生鳥獣センター（北秋田市）、妖精の森キャンプ場（北秋田市）					東北各県類似施設		各キャンプ場							
施設の基本的な方針（個別施設計画）	方向性	方向性に向けた対応													
	存続	自然の中で野外活動を行う機会を提供し、自然環境の保全に関する学習の振興に資する目的で設置した施設であり、施設の機能維持に必要な修繕を実施し使用する。なお、社会情勢の変化も踏まえながら、引き続き施設のあり方について検討していく。													
料金制	指定管理料制	主な料金設定	なし												
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）					営業期間・時間		6月1日～10月31日・9:00～18:00							
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> キャンプ場を主とした使用許可等に関する業務 施設及び設備の維持管理に関する業務 野外活動基地の管理に関し、知事が必要と認める業務 					自主事業の内容		<ul style="list-style-type: none"> 小学生までの児童を対象とした夏季キャンプ、自然体験活動、植樹活動等 小中学生を対象にした組織キャンプ、野生生物調査及び学習 他団体主催の流木アートでオブジェと落葉で堆肥作りにも共催として協力 							
サウンディング実施対象	×	年間利用者数（人）	R3	R4	R5	R6	R7	年間利用収入（千円）	R3	R4	R5	R6	R7		
			1,590	1,248	1,102	1,249	585								
収支決算（千円）	項目		R3	R4	R5	R6	R7	増減要因の分析							
	収入	利用料収入						年間利用者数	6月1日から7月下旬までキャンプ場第1サニタリー棟の雪害と老朽化により利用中止、更に9月1日の大雨でアクセス道路が不通になり、10月上旬まで全施設が利用できなかったことから、利用者は前年と比較して大幅に減少した。						
		指定管理料	6,781	6,781	6,781	6,781	6,781								
		その他収入				161	2								
		合計	6,781	6,781	6,781	6,942	6,783								
	支出	人件費	3,249	3,164	3,001	3,115	2,664		収支決算	施設の利用中止の影響を受けて、各種事業を実施することができなくなったが、水道や浄化槽等の維持管理費は固定費として支払うほか、雪害や施設の老朽化による修繕料が高んだ。					
		光熱水費			806	873	674								
		修繕費			132	609	639								
		委託料			1,978	1,978	2,346								
		その他支出	4,223	3,898	868	1,192	637								
合計	7,472	7,062	6,785	7,767	6,960										
収支差		▲ 691	▲ 281	▲ 4	▲ 825	▲ 177									

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	奥森吉青少年野外活動基地	所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原1番地
指定管理者	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン	県所管課	生活環境部 自然保護課

2 <観点I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

運営方針・施設の利用目標	自然の中で野外活動を行う機会を提供し、自然環境の保全に関する学習の振興に資する。				
目標・実績	目標の内容	利用者数1,500人			
	年度	R 5	R 6	R 7	増減要因の分析
	目標	1,500	1,500	1,500	キャンプ場第1サニタリー棟の雪害と大雨によるアクセス道路の不通により、前年比で46%と大幅に減少し、目標を達成することができなかった。
	実績	1,102	1,249	585	
	達成率	73.5%	83.3%	39.0%	
具体的な取組とその効果	予定していた事業等が中止となり具体的な取組を行うことができなかった。				
次年度の目標	目標の内容	利用者数 1,500人			
	設定の根拠	修繕により施設機能が復旧し、アクセス道路も開通したことから、森吉山麓高原の野外活動拠点として、地域、関係機関、ボランティア団体と連携しながら自然体験プログラム等を実施し、施設の利用促進に取り組む。			
<観点I> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）		
	指定管理者	B	雪害による施設の破損と大雨被害による市道の不通により、利用期間が大幅に減少したことが大きな要因である。		
	県所管課	B	雪害と豪雨災害により長期間営業できなかったため、目標未達はやむを得ないものである。		

3 <観点II> 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

利用者満足度の実績	年度	R 5	R 6	R 7	増減要因の分析
	実績 (%)	93.0	90.0	96.0	利用者の声を拾い上げスタッフ間で共有し、イベントへの反映とサービス向上に取り組んだ結果、例年よりも高い満足度となった。
	具体的な取組とその効果	施設の適切な管理を心掛けており、管理棟、キャンプ場サニタリー、トイレ等も衛生面において毎年高い評価を得ている。			
<観点II> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）		
	指定管理者	A	アンケートやスタッフに寄せられた利用者の声を拾い上げるよう心掛けており、自然体験プログラムやイベントに反映させるようにしている。		
	県所管課	A	利用者の声をスタッフ間で共有しながら、教育関係者や地域サークルとも積極的に連携し、満足度の向上に努めている。		

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	奥森吉青少年野外活動基地	所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原1番地
指定管理者	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン	県所管課	生活環境部 自然保護課

4 <観点Ⅲ> 県民サービス及び業務効率性の向上と公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

モニタリング項目	モニタリング項目		主な視点	指定管理者	県所管課
	①	②			
モニタリング項目	管理運営体制	① 職員の配置状況	事業計画書等に照らして適切な職員配置となっているか 等	A	A
		② 職員の勤務実績	事業計画書等に照らして適切な勤務実績となっているか 等	A	A
		③ 職員の処遇等	職員の処遇が労働法規に反していないか 等	A	A
		④ 施設等の適切な管理	事業計画書等に照らして日常的な保守管理や定期点検、清掃、警備、修繕等がなされているか 等	A	A
		⑤ 備品の適切な管理	備品の紛失・損傷はないか 等	A	A
		⑥ 個人情報の保護	個人情報取扱特記事項が遵守されているか 等	A	A
		⑦ 安全・安心の確保	事故防止マニュアルや緊急時連絡体制を整備しているか 等	A	A
		⑧ 経費の低減・収入の増加	経費の低減や収入の増加の取組が進められ、前年度と比較し、施設の収支状況が改善されたか 等	A	A
		⑨ 健全な経営	指定管理者選定時の財務指標と比較し、特段の経営の悪化がみられないか 等	A	A
	サービス向上	① 開館日・開館時間等	事業計画書等に照らして適切な開館状況となっているか 等	A	A
		② 業務の実施	事業計画書等に照らして適切な業務が実施されているか 等	A	A
		③ 施設の使用許可	事業計画書等に照らして適切に使用許可がされているか、優先的又は不利益な取り扱いはないか 等	A	A
		④ 職員の接客	丁寧な対応や挨拶がなされているか、名札着用や適正な服装をしているか 等	A	A
		⑤ 広報・利用情報の発信	ウェブサイトやSNS、パンフレットなど、多様な媒体により積極的な広報を実施しているか 等	B	B
⑥ 利用者の相談・意見・苦情		ウェブサイトや電話等による相談窓口を整備し、利用者からの相談・意見・苦情への対応策を講じているか 等	A	A	
⑦ 課題への対応		利用状況のほか、満足度調査等から課題を抽出し、対応策を講じているか 等	A	A	

<観点Ⅲ> 評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）
	指定管理者	A	日頃からスタッフの資質向上に向けて内部研修を実施する等、利用者に対するサービス向上を第一に取り組んでいるほか、森吉山麓地域の自然や文化を発信する拠点としての役割を果たすように心掛けている。また、破損箇所は速やかに対応し、施設の適切な管理運営等に努めている。
県所管課	A	適正な管理運営に努めており、現時点において改善点は見当たらない。	

指定管理者制度導入施設評価票
 評価対象年度【令和7年度】

施設名	奥森吉青少年野外活動基地	所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原1番地
指定管理者	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン	県所管課	生活環境部 自然保護課

5 県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方

県の施策の達成状況	奥森吉の恵まれた自然とふれあい、学習できるエリアとして活用されており、県民の環境保全の意欲の増進、環境教育・環境学習の推進等に寄与している。
施設運営の課題	施設の老朽化と利用者の安全確保。携帯電話の電波が届かない地域のため、利用者が安心して施設を利用できるよう緊急時の連絡手段を確保する必要がある。
今後の方向性	引き続き必要な修繕等を実施しながら管理運営する。緊急時の連絡手段を確保するため、令和7年度に衛星携帯電話を設置した。施設の老朽化が進んでいるため、将来的な大規模修繕を含めた施設の在り方について検討する必要がある。

6 外部有識者委員会による評価（提言）

評価(提言) 令和6年度	施設の管理運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新に係るスケジュールについて明確化いただきたい。 ・ワーケーション設備が整備されているとのことだが、電話が繋がらない状況を踏まえると厳しいと感じることから、当該施設におけるワーケーション戦略について要検討。
	県の施策達成に向けた施設運営	<ul style="list-style-type: none"> ・県が関与し続ける必要性について要検討。
評価(提言)を踏まえた対応方針 令和6年度	指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ更新は、令和7年3月中の公開に向けて調整中です。周囲のご意見をいただきながら「利用者に伝わるもの」としたいと考えています。
	県所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・国立・国定公園の新規指定・大規模拡張候補地の一つとして森吉山周辺地域が選定されており、今後の公園指定により森吉山への注目度が高まることが期待されることから、県としても国や市町村等と連携し、来訪者の受入態勢を整備する必要がある。本地域には、森吉山野生鳥獣センター（国）と本施設（県）の施設が役割を分担しながら点在しており、各施設の管理には関係機関での協議を要することから、当面は県が関与し続ける必要がある。 ・電話が繋がりにくい状況を改善するため、令和7年度に衛星電話設備（通話・データ通信可）を設置することとしている。
対応方針の進捗状況 令和7年度	指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> ・雪害による施設破損とアクセス道路の普通により予定していた事業を実施できなかった。不評であった通信環境は衛星電話の設置により改善された。施設の老朽化が懸念材料ではあるが、今後も適切な維持管理等に組み込んでまいりたい。
	県所管課	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に衛星電話を設置したことにより通信環境が改善された。 ・施設の譲渡や指定管理者候補の有無等、今後の施設の在り方について北秋田市と意見交換を行っており、指定期間が終了する令和10年度までに一定の方針を定めることとしている。 ・立地的に厳しい環境でありながら、利用促進に向けてスタッフ一丸で取り組んでいる。